

## 第4期多摩区区民会議 第8回コミュニティ部会 摘録

- |         |                             |
|---------|-----------------------------|
| □開催日時   | 平成25年9月24日(火) 午後6時10分～8時10分 |
| □会場     | 多摩区役所10階第1002会議室            |
| □参加者    | 辻野部会長、国保委員、小塚委員、戸高委員、本多委員   |
| 事務局     | 門間課長、奈良職員                   |
| コンサルタント | 斉藤研究員、梅田研究員                 |
| 傍聴者     | 1名                          |

### 1 審議にあたって

配布資料について部会長から説明があり、「1 区民会議フォーラム」「2 審議テーマに関する取組内容」についての今後の進め方について議論を行った。

### 2 審議

#### (1) 区民会議フォーラム

辻野部会長 区民会議について、事務局から基本的事項を説明してください。

事務局 区民会議フォーラムの目的はできるだけ多くの区民の参加を得て、審議テーマについて区民の意見を聞くことだ。初めに30分の全体会があり、そのあとそれぞれの部会に分かれて部会ごとの内容について90分間議論し、最後は全体で議論のまとめをする。今日は90分間の部会の議論をどのように進めるかを検討する。

またこれまで検討してきた町会・自治会向けのアンケートは、町連の会長と副会長2名に依頼内容、質問票を説明したが、過去に地域振興課が実施した防災関連のアンケートの質問との重複があるとの指摘を受け、平成20年度以降実施したの町会・自治会向けのすべてのアンケート内容を精査し、重複した項目がないことを確認し、改めて実施について交渉することになった。そのため実施時期がずれる。11月23日実施の区民フォーラムではアンケート結果を踏まえて行う考え方だったが、それが難しいとの前提で実施していただきたい。

辻野部会長 町会・自治会はアンケートを受けてくれる前提に立ってもよいのか、それともアンケートなしの方向への転換をしなければいけないのか。

事務局 アンケートを実施できる方向で考えている。ただし、フォーラムには間に合わない。場合によっては、提言も、アンケートなしでまとめることもありうると思えばいけないかもしれない。

辻野部会長 町会・自治会ではアンケートを受けることによって町会・自治会としてのメリットがないかぎり受けないという強い意志があるのか。

事務局 過去のアンケートと基本的に重複するところがないという点を突破すれば、アンケート実施は可能と考えている。こうしたアンケートが直接的なメリットがなくても回りまわって町会・自治会に間接的にメリットがある内容だ。その説明は会合に出席した委員から十分に説明してもらった。

辻野部会長 区民会議の提言に盛り込まれることでメリットが返ってくると前向きに受け止められたのか。

事務局 五分五分だと考えている。

戸高委員 区民部会の副委員長として参加したが、審議している内容の趣旨は理解してもらえたと思う。ただ2名の副会長さんは先に渡した質問票を読んでおり、過去のものと同様に重複していると考えて会合に出席しているので、その考えを変えられるかどうかは微妙だ

と感じた。次に向けて、こちらの考えをもういちど整理して、両部会長も揃って出席し、きちんと伝えれば、コンパクトでシンプルなアンケートだから受け取ってもらえるとも思う。

事務局 前回の会合では、実施を断られたわけではない。その上でもう一度挑戦すれば、わかってもらえると考えている。ただ、相手があることなので五分五分だという言い方をした。両部会長さんも参加できる日程で、次回の説明日を調整したい。

本多委員 こちらの部会は、参加者を「地域に参加してもらえるしかけづくり」と「コミュニケーション能力を育む」の二つに分けて、二つのグループで議論してはどうか。その方が議論が充実するし、意見がまとまる気がする。

国保委員 最初に取組に関する説明をすべて聞いてしまうと、説明に飽きるし、意見を言おうとしても、なにをいったらよいかわからなくなる可能性がある。取組の一つずつについて意見をもらった方がよい。「農業からの切口…」の取組は簡単な報告だけで議論の時間を取る必要はないだろう。

本多委員 部会を一つにして、取組について一つずつやっていると、議論の時間が足りないと思う。

コンサル 2 グループに分けると、運営する側も2つに分かれる必要があるが、それは大丈夫か。

本多委員 コミュニティ部会は10人いる。5名ずつ分かれれば可能だ。

小塚委員 当日はフォーラムが二つ重なっており、私はもう一つのフォーラムで発言者として決まっているので、区民会議フォーラムは欠席せざるを得ない。

戸高委員 参加者を2つのグループに分けるのはよいと思う。

辻野部会長 会場は2つに分かれて、うるさくないか。

戸高委員 前期区民会議フォーラムでも環境をテーマとする3つのグループに分かれたが、問題なかった。それぞれのテーブルの議論を模造紙にまとめたものを発表しあって、最後に一つにまとめ、全体会で発表した。

国保委員 「コミュニケーション能力を育む」についてはこれまであまり検討していないが、90分間も議論できるのか。

本多委員 登下校の子どもたちを見守り、あいさつ言葉をかければ、最初は引いていた子どもたちもだんだん打解けて、何もない時でも言葉を交わせるようになるといった、これまで議論してきた話をだし、そこに集まった人たちと、どうすれば子どもたちと会話をすることができるかといった話を投げかければ出るのではないか。

国保委員 そういう議論のきっかけとなる話題をそろえておけば、議論できるということか。

本多委員 私の近所に少年野球をやっている子どもたちがいる。君はどこを守っている、今日は練習しないのかとか、気楽に話せる場面をどうつくるかなどの議論をするとよい。それぞれの取組の説明自体はせいぜい5分くらいで、意見交換の時間を長くとる方がよい。出された意見を誰かが筆記するのも大変なので、ラベルに書いて出してもらおうほうがまとめやすい。

小塚委員 二つのグループに分かれ、ラベルで意見を出すワークショップ形式に参加者も慣れてきているので、問題はないと思う。

戸高委員 昨期の区民会議フォーラムでも経験したが、参加者の意見をきちんと聞くのだというのを押さえて、ワークショップ形式でやればよいと思う。

小塚委員 フォーラムでは区民会議の委員はむしろ発言を抑えた感じで、参加してくれた区民の意見をどんどん聞く形にすればいい会合になると思う。

戸高委員 昨期は、意見をまとめるためのワークショップではなく、意見をたくさん多様に出

してもらおうことが大事だという点を押さえ、出された意見をみんなで共有するディスカッションにした。今回もそういうやり方がよいと思う。落とすところを決めてしまうと、いろいろな意見が出なくなる。

小塚委員 区民会議の委員はフォーラムではあまり意見を出さない方がよい。来た人が自分も参加して、議論をしたという感じを味わえる会合がよい。

国保委員 意見を言ってもらおう場所であって、こちらの意見を押し付ける場所ではない。参加者からの意見を引き出す方法づくりを検討するのがよい。

戸高委員 二つのグループに分ける場合、最初は全員に対して、部会としての検討の経緯を説明する役割が必要で、それは部会長がやるのだろう。それから2グループに分かれて議論をする。

本多委員 グループはグループごとに取り回し役が必要だが、最初はコミュニティ部会全体でどんな経緯でこのふたつのテーマになったかを部会長が説明しなくてはいけない。部会長はその後はグループに属さずに両テーブルを回りながら、どんな議論をしているかを聞く役回りだろう。

小塚委員 ワンフロアしか使えないのか。

事務局 6階のフロアだけだ。11階と比較すると小さい。

戸高委員 狭くても大丈夫だ。問題はない。

事務局 さきほどからの話だと、二つのグループに分かれて行う場合、委員の意見は押さえて参加者の話を聞くということだから、イベントカレンダーやあいさつ運動などの具体的取組だけでなく、地域に参加してもらおうしかけてして他にどんなものがあるのか、コミュニケーション能力を育むしかけてしてどんなものがあるのか、自由に発言してもらって、これまで部会で出た意見だけではなく、いろいろな意見を聞く会合にするのか。

本多委員 もし私がファシリテーターをするのなら、部会の議論を報告したうえで、他にアイデアや意見はないかという聞き方をしたい。

国保委員 二つのグループに分けてやるという意見が多いが、これまで部会で一緒に議論してきたものを、分けてやることに問題はないか。一緒にやってもよいのではないか。こういう場で意見をいうことに慣れていない人が参加していることを想定すべきだろう。そういう人が意見を言いやすい場は、どちらだろう。

本多委員 意見の出しやすさから言えば、問題は絞ったほうがよい。漠然としていると意見を出しにくい場合もある。

辻野部会長 問題はファシリテーターがみんなが話しやすいように、どう問いかけ、どういっしかけて話をもっていくかだ。

本多委員 これまでコミュニケーション能力を育むのテーマの方はあまり議論をしていないので、90分間どう議論を進めるかが問題だということはあるが、逆に議論を詰めていないのだから、参加者に意見を聞く会にしてはどうか。

辻野部会長 そこで出た意見を提案にまでまとめていくための時間が、残り3か月と少ない点が気にかかる。

本多委員 いずれにしてもコミュニケーション能力を育むというテーマの提言のまとめをしなければいけない。そのためには意見が多様にあったほうがよいと考えることもできる。

辻野部会長 アンケートをすることで裏付けをしようと思論んでいたが、それができない可能性があるならば、フォーラムの場を意見を聞く機会と考えるということか。

国保委員 本多委員が言う、これまで議論をすることができなかったが、この場を利用して意見を聞くというのは、よいやり方かもしれない。

本多委員 90分を多いと考えずに、それくらいかけて揉んだ方がいいという考えです。

辻野部会長 子ども区民会議でも意見が出たのだから、出るかもしれない。

本多委員 私たちの自治会はラジオ体操をやっていないから、ラジオ体操に絞り込むとあまり意見がでない。コミュニケーション能力を育むという大きなくくりで投げかけた方が、意見がでるのではないか。そのひとつの方法としてあいさつ運動があるという投げかけ方だ。

辻野部会長 あまり広く意見をもらいすぎるとまとめが心配だ。あいさつ運動のくくりで収斂させて、まとめられるように話を進めてもらう方が良い気がする。

本多委員 多様な意見が出た方がよいと思うが。

辻野部会長 多様な意見が出た場合は、第3期にもそうしたように、次期送りという手もあるが、できるだけあいさつ運動の分野で提言をまとめる方向の方がよい気がする。

小塚委員 自分たちが住んでいる地域の安全のため、顔見知りを増やしあいさつをする関係をつくるということで、子ども110番のような話も、コミュニケーション能力を育むというジャンルに入ると思う。これも議論のひとつの話題にしてもらうよいだろう。

辻野部会長 では役割分担の話になるが、コミュニケーション能力を育むの方のグループは、本多委員が座長をできますね。

本多委員 他にやる人がいなければ、私が引受けます。

国保委員 地域に参加してもらうしかけづくりの多様な趣味にふれあえるしかけのところは私がします。

小塚委員 一般の参加者はフォーラムの内容を理解して参加するのか。

事務局 チラシを作って配布するから、コミュニティ部会では地域に参加してもらうしかけづくりとコミュニケーション能力を育むという問題について話し合うという内容がわかって、参加することになる。

本多委員 昨期は環境の部会に出たが、環境問題に取り組んでいる人がたくさんきて、すごく熱心な議論が行われた。

辻野部会長 ある程度コミュニティに関心を持っている人が参加するということだ。

戸高委員 さらに、参加人数を確保するために、みんなでこのテーマに参加してもらうように、声掛けをすることが大事だ。

国保委員 あいさつ運動では、小学生の登下校時に外に出て声掛けをする以外にも運動があるのか。

本多委員 他の自治会ではやっているところがあるようだが、私の町会ではやっていない。

国保委員 そうした状況でいろいろな意見がでるのか。

辻野部会長 資料を用意すれば話は出ると思う。最近あいさつ運動の記事が結構、新聞に出ることが多い。自分でも3、4事例持っている。それがヒントになるだろう。

本多委員 町会ではあいさつ運動ではないが、多様な世代や家族が知り合いになれるようなそうめん流し、クリスマスパーティなどをやっている。あいさつ運動そのものでなくても、広い意味でのコミュニケーション能力を高めるいろいろなアイデアが出るとよいのではないか。

小塚委員 参加者一人ひとりに、あなたはコミュニケーション能力を高めるために、どんなことを日ごろやっているか教えてくださいと、前向きに引き出せば意見がでるのではないか。

戸塚委員 町会で積極的にあいさつ活動をしている町会に出てもらって、事例を発表してもらうのはどうか。宿川原などはとても活発にやっている。町会内で十分にやっているから、外から入りにくいくらいだ。幼稚園の子どもたちを守るために、地域のパトロールをしている。その活動のなかで子どもたちとどうやってコミュニケーションしているのかを

聞くと、参考になるし、意見がたくさんでてくると思う。

小塚委員 昼間はあいさつできないが、夜の飲み会などの場で一緒になった時は、知らない人でもあいさつしている。なぜそうなるのかなどを話し合っても面白い。

辻野部会長 町会の事例を出せば、確かに意見が活発に出るだろうし、参考になる。それでいい。

国保委員 プログラムでは、「あいさつ運動の展開、その他」とすれば、いろいろな意見がでるだろう。

辻野部会長 当日の役割を確認しよう。

本多委員 二つのグループに分かれる前の部会全体の経緯などの説明は、部会長がすることになる。

辻野部会長 地域の方のファシリテーターはだれがするか。

本多委員 辻野部会長は両方のグループの議論を聞く、フリーの立場を取った方がよい。ファシリテーターは当日来ることができて、本日出席している戸高さんがやるほうがいいのではないか。

戸高委員 それしかないようなので、やります。

コンサル ラベルのまとめは今日欠席の委員がやることになる。

本多委員 フォーラムのチラシはいつできるのか。

事務局 次回の部会会合では遅いので、その前に委員のみなさんに案を回せるようにしたい。

本多委員 少なくとも1か月前にはほしい。

戸高委員 部会のグループワークショップのシミュレーションはいつするのか。

事務局 次回10月29日第9回部会になるだろう。

戸高委員 その時までにはフォーラム当日の委員メンバーの出席の確認などしないと不安な気がする。

本多委員 29日は委員の欠席がないようにしないといけない。

戸高委員 当日の一般参加者で町会の方たちにもたくさん来てほしい。その方たちにどうやって発信するかなども確かめておきたい。当日どのようにグループ会議を進めるかを第9回部会の前に事務局の方たちと打合せしたい。フォーラムに向けての下準備を29日からするのは遅くないか。

国保委員 フォーラムの内容・進行が最終の部会以前にそれぞれの委員の頭に入っていないといけないということだろう。

戸高委員 町会の方たちは前月の案内などを見て翌月の行動を決める。部会の内容について、早く知らせたい。どんな方たちに参加してもらえるかを事前に把握しておきたい。

本多委員 町会の皆さんには、この日にこんな話をするので参加してくださいと、ピンポイントで何人かの約束を取付けておいた方がよい気がする。

戸高委員 本当は今日、どの町会のどんな内容について誰に出てもらおうか、そのためにどんな内容の依頼状を出すかを検討できればよかった。そうすれば、次回の部会ではこの人に出てもらおうという結果がわかって、シミュレーションできる。

辻野部会長 自然災害部会では町会に出てもらおう件については、どう考えているか。

事務局 とくに話題はでなかった。戸高委員の意見は、チラシの内容を早めに固めて、町会に知らせるということだろうが、さらにピンポイントで出ていただきたい方に声掛けをして、参加してもらうことが必要だということだろう。

本多委員 チラシの最終版を10月27日までにはできるだろうか。

事務局 フォーラムの1か月前に用意するようにする。それ以前に町会・自治会のみなさんと会う機会があるので、早めに内容を知らせて参加してもらおうようにする。

本多委員 10月29日の部会では自治会長さんのどなたが参加するか、ある程度おさえておかないと29日から動くのでは不安だ。

事務局 アンケートを町連の会長・副会長さんたちに説明した時に、われわれは区民会議のみなさんと意見交換する場がほしいといていた。その場が区民会議フォーラムだと説明してきたが、アンケートの件で再度会うので、それをチラシなどできちんと伝え、参加者が確認できるようにしたい。

辻野部会長 次回のアンケートの打合せを町会の参加を促すよい機会として使ってもらいたい。これからはグループごとの進め方を具体的にビジュアルに描いてもらう時期になるので、みなさんにその点が浮彫りになるような知恵を考えてもらい、次回に意見をいただきたい。市民館デーのまとめも当日出してもらいたい。

### 3 スケジュール

○第9回コミュニティ部会 10月29日(火)18時～

以上